


**平成29年3月期**

**決算説明会**

 **大阪製鐵株式会社**

**平成29年5月22日**

# 本日の内容

- I . 平成29年3月期 決算実績
- II . 平成30年3月期 年度決算見通し
- III . トピックス
- IV . 質疑応答

代表取締役社長 内田純司

# I . 平成29年3月期 決算実績

1. 連結損益状況
2. 連結経常損益分析(対前年同期増減)
3. 製品市況およびスクラップ市況推移
4. 鋼材販売価格推移
- 5-(1). 連結比較貸借対照表(資産の部)
- 5-(2). 連結比較貸借対照表(負債および純資産の部)
6. キャッシュフロー
7. 主な財務指標

# 1. 連結損益状況

対前年同期増減

(単位:百万円)

	H27年度実績	H28年度実績	増減
売上高	54,677	62,135	+7,457
営業利益	8,100	5,955	△2,144
経常利益	8,284	5,931	△2,353
特別利益	*1 3,828	-	△3,828
特別損失	*2 △1,201	*3 △1,640	△439
当期純利益	10,350	2,769	△7,580

売上高経常利益率	15.2%	9.5%	△5.7%
----------	-------	------	-------

\*1 東京鋼鐵関連 3,575百万円  
(負ののれん益)

新北海清算関連 253百万円

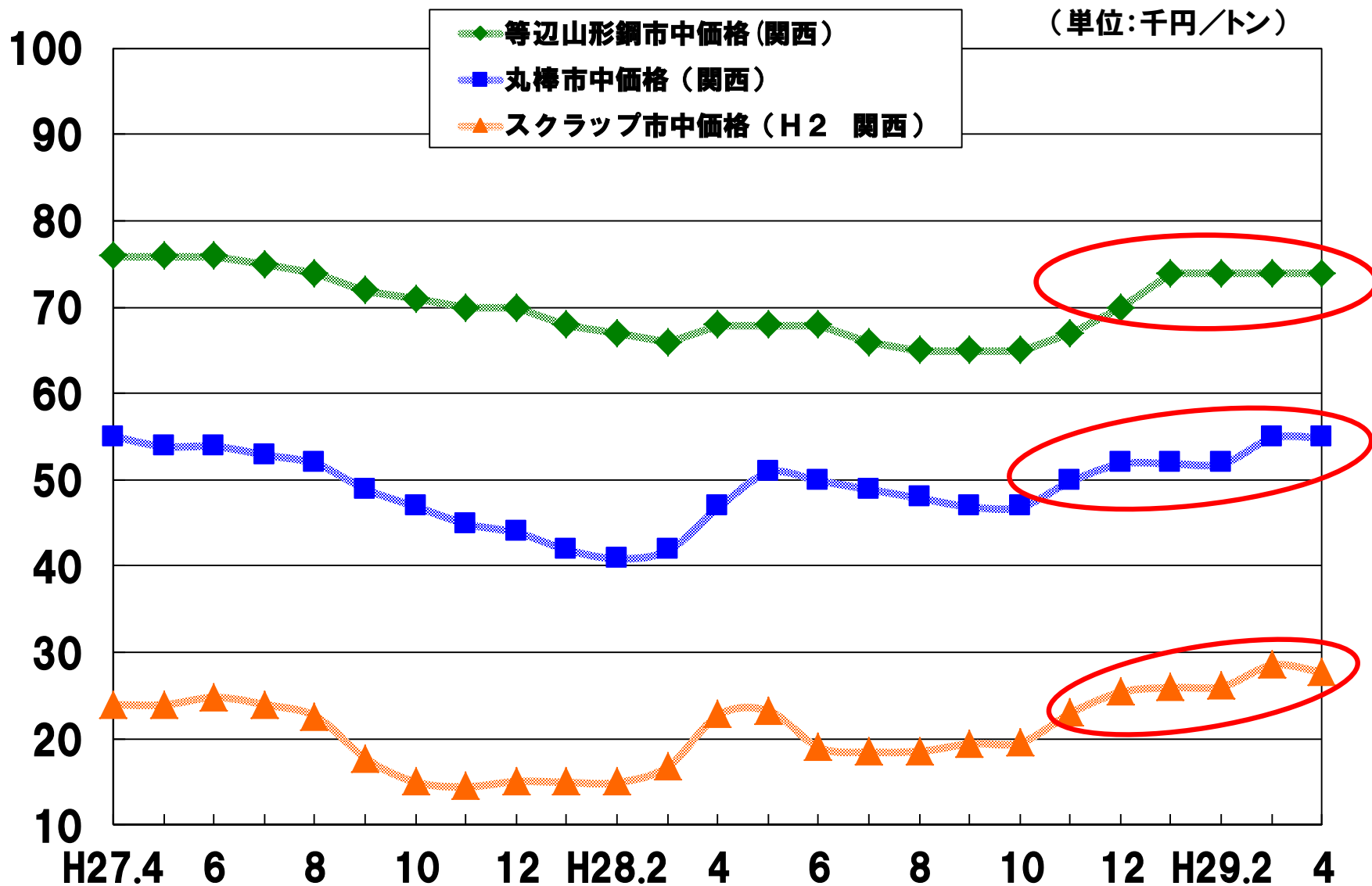
\*2 大阪生産体制最適化対策 △641百万円  
熊本ダスト還元炉関連 △560百万円

\*3 熊本地震による災害損失 △1,640百万円

## 2. 連結経常損益分析(対前年同期増減)

<b>(1) 販売価格低下</b>	<b>△34 億円</b>
<b>(2) スクラップ価格上昇</b> ( +3.3千円/トン上昇)	<b>△33 億円</b>
<b>(3) 生産・出荷量の増加</b>	<b>+33 億円</b>
<b>(4) エネルギー価格等下落</b>	<b>+14 億円</b>
<b>(5) コスト上昇</b>	<b>△17 億円</b>
<b>(6) 払出差額(在庫影響)等</b>	<b>+13 億円</b>
<b>損益差異</b>	<b>△24 億円</b>

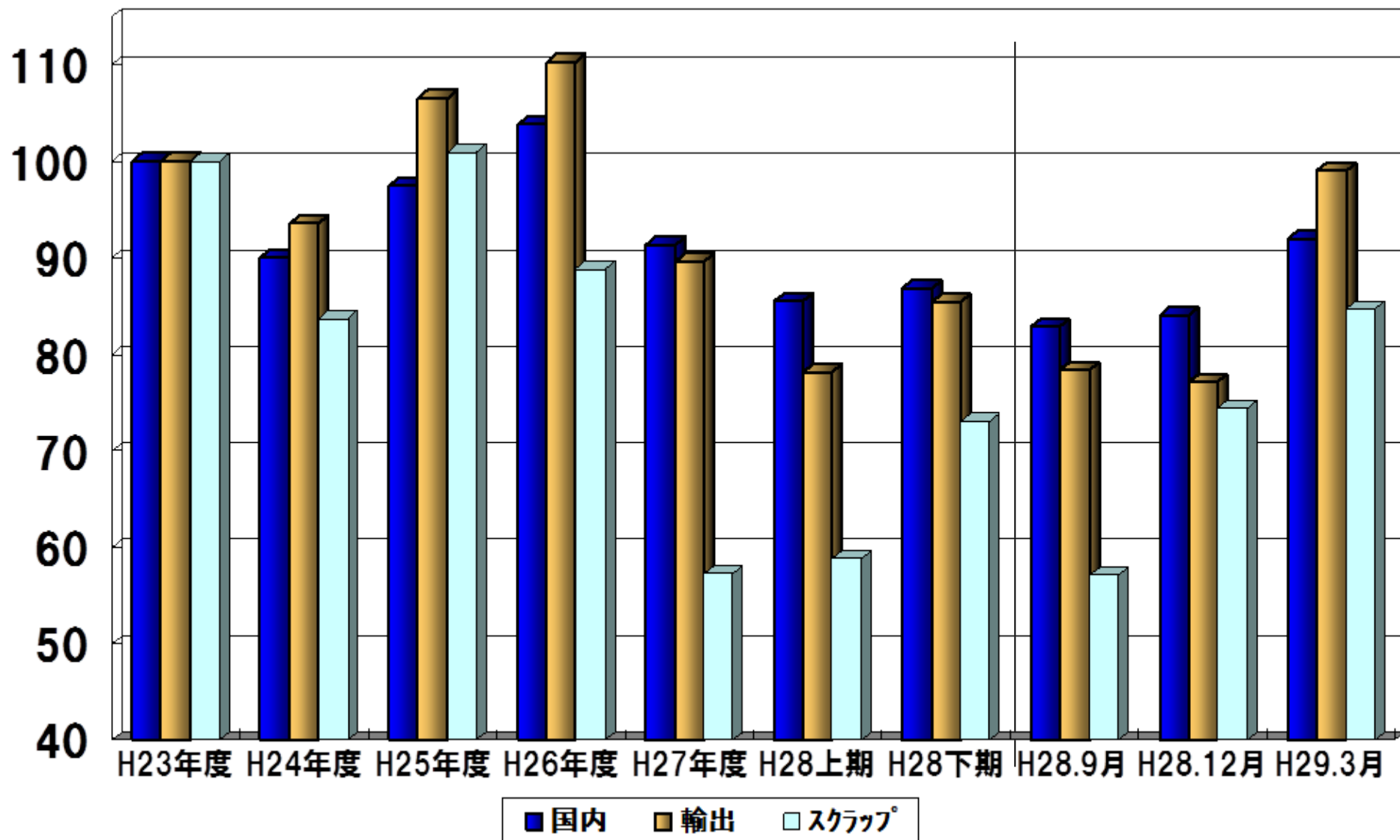
### 3. 製品市況およびスクラップ市況推移



# 4. 鋼材販売価格推移

(H23年度=100)

(単位:%)



# 5-(1). 連結比較貸借対照表

## ●資産の部

(単位:百万円)

科 目	平成28年3月末	平成29年3月末	増 減
<b>流 動 資 産</b>	<b>99,939</b>	<b>102,096</b>	<b>+2,156</b>
現金同等物	59,961	58,938	△1,022
受手・売掛・未収入金	18,582	20,868	+2,286
棚卸資産	10,189	11,590	+1,400
関係会社短期貸付金	10,000	10,000	-
そ の 他	1,206	698	△507
<b>固 定 資 産</b>	<b>56,692</b>	<b>68,106</b>	<b>+11,413</b>
有形固定資産	54,584	65,511	+10,927
無形固定資産	50	44	△6
投資有価証券	1,569	1,833	+264
そ の 他	488	716	+228
<b>資 産 合 計</b>	<b>156,632</b>	<b>170,203</b>	<b>+13,570</b>



# 5-(2). 連結比較貸借対照表

## ●負債および純資産の部

(単位:百万円)

科 目	平成28年3月末	平成29年3月末	増 減
買 掛 ・ 支 手	5,167	7,300	+2,133
長 期 借 入 金	372	9,223	+8,850
未 払 金	3,547	5,583	+2,035
そ の 他	6,459	6,650	+191
<b>負債(流動+固定)合計</b>	<b>15,546</b>	<b>28,756</b>	<b>+13,210</b>
資 本 金	8,769	8,769	-
資 本 剰 余 金	10,648	10,904	+255
利 益 剰 余 金	121,516	122,340	+823
自 己 株 式	△4,533	△4,534	△1
<b>株 主 資 本 合 計</b>	<b>136,401</b>	<b>137,479</b>	<b>+1,078</b>
その他の包括利益累計額	701	859	+158
非支配株主持分	3,983	3,107	△875
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>141,085</b>	<b>141,446</b>	<b>+360</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>156,632</b>	<b>170,203</b>	<b>+13,570</b>

## 6. キャッシュフロー

(単位:百万円)

税金等調整前当期純利益	4,290
減価償却費	3,181
売上債権・仕入債務・未収入金の増減	△461
棚卸資産の増加	△1,382
法人税等の支払い	△818
その他	114
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>4,924</b>
固定資産の取得による支出	△12,115
関係会社貸付金の回収による収入	10,000
関係会社貸付による支出	△10,000
その他	504
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△11,610</b>
長期借入金の増減	8,333
連結範囲変更を伴わない子会社株式取得	△611
自己株式の取得	△1
配当金の支払等	△1,947
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>5,774</b>
<b>現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△111</b>
<b>現金及び現金同等物増加 (59,961→58,938)</b>	<b>△1,022</b>

# 7. 主な財務指標

	H27/3E	H28/3E	H29/3E
自己資本比率	87.0%	87.5%	81.3%
1株当たり純資産	3,294円	3,522円	3,554円
当社株価 PBR	2,133円 0.65	1,842円 0.52	2,013円 0.57
総資産経常利益率 (ROA)	6.4%	5.5%	3.6%

製造業平均

鉄鋼業界平均

H27Fy	H27Fy
46.4%	41.8%
5.3%	2.6%

<売上高経常利益率> [ 単 独 ]	<13.5%> [13.9%]	<15.2%> [16.2%]	<9.5%> [10.0%]
<総資産回転率>	<0.47回>	<0.36回>	<0.38回>

<5.9%>	<3.2%>
<0.90回>	<0.82回>

## **Ⅱ . 平成30年3月期 年度決算見通し**

- 1. 年度連結損益見通し**
- 2. 年度連結経常損益見通し分析**
- 3. 配当金推移と方針**
- 4. 設備投資について**

# 1. 年度連結損益見通し 対前年度増減

(単位:百万円)

	H28年度実績	H29年度見通し	増減
売上高	62,135	81,000	+18,865
営業利益	5,955	7,500	+1,545
経常利益	5,931	7,500	+1,569
特別損失	* $\Delta$ 1,640	-	+1,640
当期純利益	2,769	5,200	+2,431

\* 熊本地震による災害損失

## 2. 年度連結経常損益見通し分析 対前年度増減

### 対前年度経常利益 + 16億円

(1) 販売価格上昇	+ 54億円
(2) スクラップ価格上昇	△ 41億円
(3) 生産・出荷量の増加	+ 13億円
(4) エネルギー価格等上昇	△ 17億円
(5) コスト改善等	+ 7億円

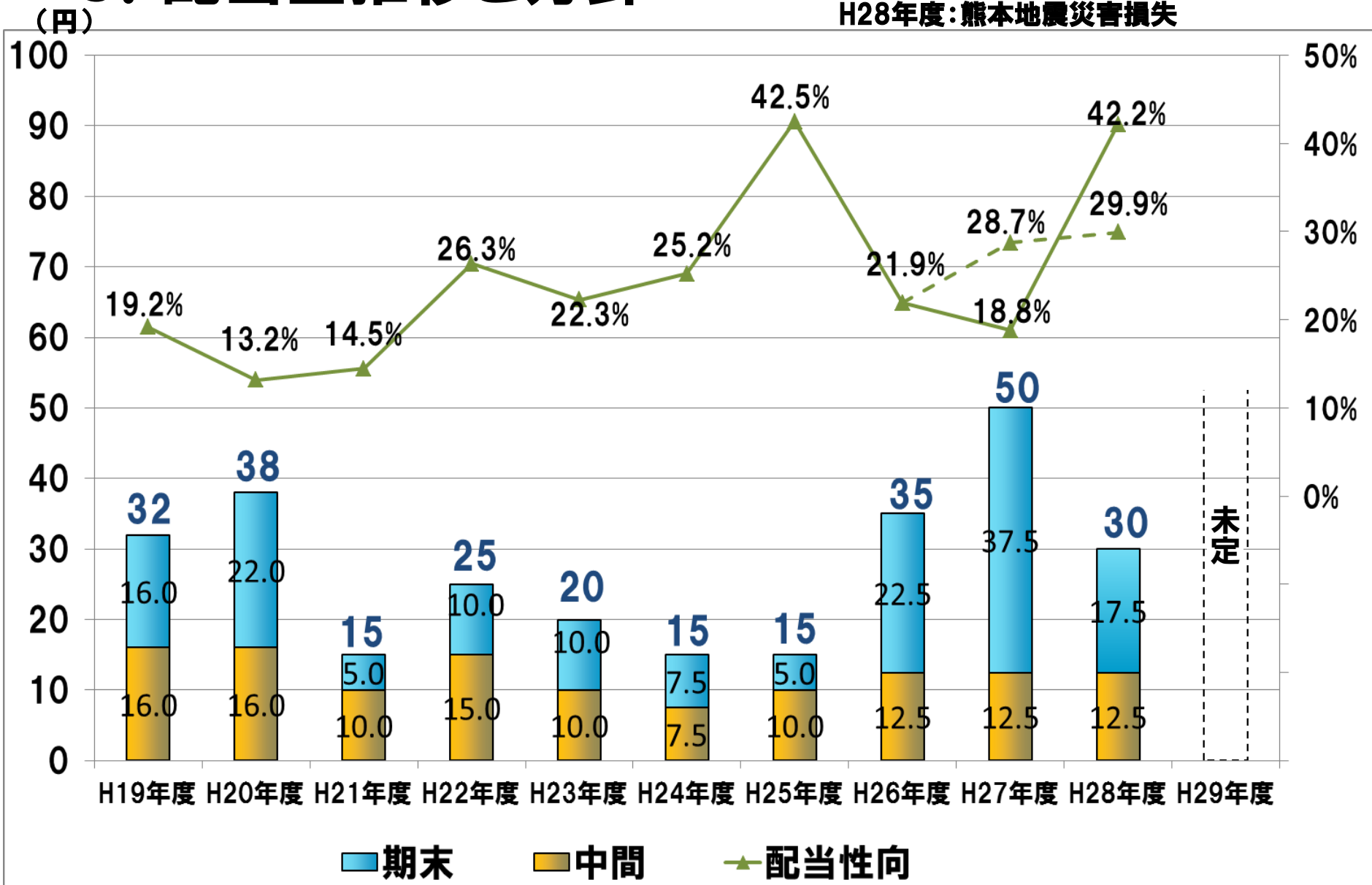
損益差異 + 16億円

(うち、東京鋼鉄とのシナジー効果\*) (+3億円+ $\alpha$ )

\*生産最適化、諸元改善、調達等

# 3. 配当金推移と方針

配当性向の点線は特殊要因除き  
 H27年度: 負ののれん発生益(東京鋼鐵)  
 H28年度: 熊本地震災害損失



## Ⅲ . トピックス ～ 当社の進路について

### <目次>

1. 当社の目指す企業像
2. 当社の基本戦略
3. 当社の特長と優位性
4. 当社の課題
5. 考えるべき次の一手



# 終了

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。